

多国間共同訓練コブラ・ゴールド24



第795号
令和6年4月17日

統率方針
「所命完遂 先進」
要望事項
「サービスの宣誓の実践」
「万事作戦」
「総合した連携の強化」

発行：北部方面總監部広報室



タイ王国で実施された

アジア最大規模の演習に参加

北部方面隊は、2月20日(火)から28日(水)までの間、タイ王国で実施されたアジア最大規模の演習である多国間共同訓練コブラ・ゴールド24に第5旅団(旅団長 鳥海陸将補)と第3施設団(団長 鹿子島陸将補)基幹が参加した。

本訓練は米国及びタイ王国共同開催の他、日本、中国、韓国、シンガポール、マレーシア及びインドの計8ヶ国が参加し、国際平和協力活動に係る総合運用能力を向上させるとともに、参加各国との連携強化及び相互理解を増進することを目的として行われる。

実動訓練では、第5旅団司令部医務官である伊東2佐が、参加国に対し日本の自衛隊の災害派遣訓練活動について普及するとともに、マグニチュード7.3の大地震が発生した想定に基づき、各国軍及び

びタイ消防等との混成医療隊を編成してトリアージ区分に応じた医療活動を実施した。

また、第3施設団はタイ国及び米軍と共同で多目的施設を1ヶ月という短期間で建築し、各国の技術の高さを見せた。

本訓練を通じて多国間連携の重要性を認識するとともに期間を通して参加各国の技能向上に寄与した。



実動訓練の様子(第5後方支援隊 飯塚2尉)



第3施設団の隊員達



日本隊として挨拶する伊東2佐(第5旅団)



第5後方支援隊 中村3曹



ミーティングの様子(第3施設団)



共同作業の様子(第3施設団)



共同作業中の石山3曹(第3施設団)



記念撮影(第5旅団)



完成した多目的施設(第3施設団)



鉄筋を曲げる作業(第3施設団)



視察の様子(第3施設団)



共同作業中の藤原3曹(第3施設団)

北部方面隊の活動はホームページ及び各種 SNS をご覧ください。チャンネル登録及びグッドボタンをよろしくお祈いします。

YouTube

Instagram

Facebook

X(旧ツイッター)

HP



ユーチューブ



インスタグラム



フェイスブック



エックス



ホームページ

冬季遊撃課程

過酷な訓練を克服してき章を獲得



冬季遊撃き章

冬季戦技教育隊(隊長 聖徳1佐)は、1月10日(水)から3月1日(金)までの間、各方面隊から集まった31名の学生に対し、第15期冬季遊撃課程教育を担当実施した。本教育は、積雪寒冷地における遊撃部隊隊員として必要な知識及び技能を習得させるとともに、必要な資質を涵養することを目的として、真駒内駐屯地、北海道大演習場、ニセコ演習場及びその周辺において行われた。

山地潜入訓練としてニセコアンヌプリ、ニトヌプリ等の山地を3日間行進した。2月26日(月)からの総合訓練は北海道大演習場等を使用し、高度な隠密行動技術が必要とする潜入潜伏や伏撃など流動変転する状況の中の訓練であったが、高いスキー技術とレンジャー隊員として培った精神力でスキーやかんじき等を駆使し、雪洞を掘り宿営、最終的に30名が訓練をやりきり任務を完遂した。



警戒しながら前進する隊員



リベリング訓練



指導部による指導



戦闘行動



スキーによる積雪地の機動



雪盤による戦闘指導



雪洞作成の説明



雪洞作成

令和6年能登半島地震 災害派遣任務終了

3ヶ月の派遣を終え帰隊

方面隊は、令和6年能登半島地震に係る災害派遣のため北方入浴支援隊を編成し、1月5日(金)以降石川県に前進し入浴支援を実施していたが、この度4月8日(月)をもって支援を終了しそれぞれの駐屯地に帰隊した。

派遣間、入浴者からは「ありがとう」とつても温かくてよかったです等の温かいお礼や感謝の言葉をもらうことができた。方面隊は各種事態に対応するため、引き続き備えを万全にしてい

北方入浴支援隊は、第2師団、第7師団、北方方面後方支援隊、北方方面会計隊及び北方方面衛生隊で編成され、石川県の七尾市、穴水町、志賀町において逐次要員を交代させながら入浴支援を実施し、延べ約80日、約3万名に対し入浴支援を実施した。

活動の様子はこちらから



派遣動画#2



派遣動画#1



出迎えの様子(第2後方支援連隊)



お礼のプレゼント(北部方面後方支援隊)



報告する山田3佐(北部方面後方支援隊)



出迎えの様子(北部方面後方支援隊)



任務完遂記念(北部方面後方支援隊)



帰隊した隊員(第2後方支援連隊)

対空実射訓練

方面の対空戦闘能力の強化

方面隊は、2月24日(土)から4月4日(木)までの間、静内対空射撃場(新ひだか町)において令和6年度第2次対空実射訓練を実施した。訓練は、各師団、各旅団及び第1高射特科団が担当し、各隷下部隊、各方面直轄部隊が参加して、87式自走高射機関砲(AW)及び12.7mm重機関銃の実射訓練をそれぞれ行った。

射撃予習を徹底する等、万全の状態での訓練に臨み、標的機に向け実弾射撃を行い、所望の訓練成果を収めるとともに、各射撃に対する練度向上を図った。

12.7mm重機関銃の射撃においては、事前にシミュレーターを使用した追従射撃を演練し、



重機関銃射撃の様子



射撃する87式自走高射機関砲



重機関銃射撃の様子

一般陸曹候補生課程前期及び自衛官候補生課程教育入隊式

澆刺と声高らかに宣誓

方面隊は、4月6日(土)から7日(日)にかけて管内5つの駐屯地において、一般陸曹候補生及び自衛官候補生課程教育の入隊式を実施した。

入隊者は雪がまだ残る3月下旬以降、道内をはじめ日本全国から各教育担当部隊に着隊し、教官等の指導の下、入隊式に備えて制服の準備、服等へのネーム取り付け、敬礼や行進等の基本教練を体得して入隊式に臨んだ。

入隊式では初々しく



サービスの宣誓

も堂々とした行進や基本教練を披露するとともに、声高らかに服務の宣誓を行い陸上自衛官としての第一歩を踏み出した。

また入隊式に出席した両親に対する「これから頑張って一人前の自衛官・社会人になる」という、頼もしい言葉もあり、両親も感慨深い様子であった。

今後、約3ヶ月にわたる自衛官として必要な基本的教育を受け、その後各職種部隊でさらに3ヶ月にわたり各職種

の教育を受けた後、各職種等に配属され第一線で活躍する陸上自衛官となる。



家族と一緒に



辞令書交付



入場を待つ新隊員

バイアスロン日本選手権大会及び宮様スキー大会国際競技会バイアスロン競技協力

伝統ある大会の運営に協力

北部方面混成団(団長平松1佐)は2月24日(土)から3月3日(月)までの間、真駒内射撃地区においてバイアスロン日本選手権大会及び宮様スキー大会国際競技会バイアスロン競技協力を担任実施した。

今回で95回目を数える宮様スキー大会はバイアスロンのほか、ジャンプ、クロスカントリ、アルペン等の競技が行われ、陸上自衛隊としても昭和27年の北部方面隊創隊以来、今年で60回目を数えるバイアスロン日本選手権大会

とともに継続して協力している。

また、昭和41年の第37回大会からバイアスロン競技が宮様スキー大会正式種目となつて以降、北部方面隊をはじめとする積雪地の各部隊、海空自衛隊の部隊が競技に参加している。

今回の競技を通じて、担任部隊である北部方面混成団をはじめとする各支援部隊はこの歴史と伝統のある大会に協力することへの誇りを胸に与えられた任務を完遂した。



支援の様子



支援の様子



北部方面音楽隊 第92回定期演奏会

陸上自衛隊北部方面音楽隊
Japan Ground Self-Defense Force Northern Army Band

第92回定期演奏会

令和6年6月1日(土)
12:30開場 13:30開演

kanamoto hall (札幌市民ホール)
カナモトホール

入場無料

(プログラム)
♪ドラゴンの年(2017年版)
♪ドラゴンクエストによるコンサート・セレクション
♪ディズニーランド50周年セレブレーション
♪キャリオカ(チューバ Solo)

北海道補給処長
陸将補 藤丸 幸二

昭和43年生 福岡県出身
前職 開発実験団長



第11旅団長
陸将補 足立 吉樹

昭和43年生 兵庫県出身
前職 防衛研究所副所長



第7師団長
陸将 松永 浩二

昭和44年生 福岡県出身
前職 第15旅団長



帯広駐屯地業務隊長
1等陸佐 廣岡 睦

昭和48年生 鳥取県出身
前職 第4師団司令部 火力調整部長



第1特科団長
陸将補 香川 賢士

昭和50年生 愛媛県出身
前職 西部方面総監部 防衛部長



第2師団副師団長
陸将補 井上 互

昭和46年生 千葉県出身
前職 防衛大学校防衛学 教育学群



着任部隊長等紹介

